

伊是名中学校卒業式



蒼穹

蒼穹(そうきゅう)
~広く蒼い空に羽ばたく~

◆ 今月号の主な内容 ◆

令和2年度 施政方針
卒業式&卒園式
地域包括支援センターだより
日高交流

	伊是名	仲田	諸見	内花	勢理客	計	先月比
男	138	181	246	93	91	749人	-4
女	113	176	177	74	105	645人	-6
計	251	357	423	167	196	1,394人	-10
世帯数	151	199	243	80	86	759	-4

村の人口【計 1,394人】令和2年2月29日現在

令和2年度施政方針



伊是名村長
前田 政義

I はじめに

本日ここに、令和2年第1回伊是名村議会定例会の開会にあたり、令和2年度当初予算案等の議案審議に先立ち、村政運営に臨む所信を申し述べ、議員各位並びに村民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

― 中略 ―

さて、村においては昨年度、公約に掲げた若年層の定住促進を図るための結婚祝金及び出産祝金の支給を開始し、結婚祝金が6夫婦、出産祝金が12子に支給されています。子育て支援を図る施策として、保育所の主食・副食費の無償化、幼稚園の

保育料、給食費及び預かり保育料の無償化、更に、小学校、中学校の給食費の一部助成も実施致しました。小学校、中学校の給食費の助成については、年次の引き上げ、本年度は3分の2を助成致します。こども医療費助成についても、対象年齢を高校生まで引き上げ無償化しており、沖縄県子どもの貧困対策事業の一環で実施している「子どもの居場所づくり」についても昨年9月から取り組んでおり、引き続き実施して子育て支援に寄与して参ります。

なお、以前から検討していた給付型奨学金についても、昨年度から実施していますが、本年度は更に枠を増やし、引き続き修学意欲のある優秀な人材の育成に取り組んで参ります。

村民の声を村政運営に反映することを目的に、昨年10年ぶりに「行政懇談会」を開催し、様々な意見、要望等を伺い、村政運営に反映して参りました。本年度も引き続き「行政懇談会」を開催し、開かれた村政運営を目指して参ります。

村づくりの指針となる「第4

次伊是名村総合計画」は、いよいよ後期5年の4年目に入りま

す。これまで、第4次総合計画のむらづくりの基本目標である「歴史に学び、自然を愛するしまづくり」、「気質を誇り、うまみちゆの交流するしまづくり」、「人にやさしく、健やかで暮らせるしまづくり」、「豊かな生活と活力あふれるしまづくり」、「結いの心で支える協働のしまづくり」の5つの目標を掲げ、村づくりに取り組んで参りました。引き続き、村づくりの将来像である「歴史と自然、人が共生するときわのしま・伊是名」を目標に掲げ、本村の歴史性、自然性、人間性が三位一体となって共生する活気に満ちた村を目指して、各種施策を着実に推進して参りますので、議員各位並びに村民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、令和2年度の主要施策について、ご説明申し上げます。

II 令和2年度主要施策

1 産業の振興について

(1) 農林水産業について

① 農業の振興

今期さとうきび生産は、台風の直接的な被害も少なく、順調な生育でしたが、国内では未発生だった病害虫「ツマジロクサヨトウ」が確認され、7月には沖縄県内で、10月には本村においてもイネ科の防風用ソルガム等に被害がありました。幸いにも「さとうきび」への被害は確認されませんでした。急遽、伊是名村糖業振興会を中心として新植夏植えほ場を対象に早期防除を行ったことにより、未然に防ぐことができました。そのため今期は、平成25/26年期以来の年明け操業となりましたが、生産見込み調査では20、491トンと5年連続の2万トン超えが予想され、心から喜んでいられる次第であります。

これまでの沖縄振興特別推進交付金や各種事業を活用した「完熟堆肥」や「緑肥」等の助成事業の効果が発現しているものと考

えられます。

また、水稲においては植え付け前から適度に雨が降り続き、植え付け後もあまり水の心配をすることもなかった一方、梅雨入り後から例年になく大雨が続き、刈り取りが遅れ品質が心配されたところ、等階級が下り、収量も計画を若干下回る193トンとなりました。

農業を取り巻く環境は、依然厳しい状況にあり、農業生産振興のために、今後も引き続き、土づくり支援事業をはじめ、適期の病害虫防除、肥培管理等の基本的な栽培技術の普及に取り組みが必要があることから、県の協力を得ながら農業振興政策を実施して参ります。

なお、農業の担い手の高齢化や後継者不足も深刻となっております。引き続き新規就農者の確保を目的に、農業次世代人材投資資金事業（旧青年就農給付金）を活用し、農業の担い手確保を図って参ります。

また、既存鉄骨ハウスを改修利用した植物工場において、養液栽培による「いちご」栽培が本格的に稼働したことにより、今

後は本村の新たな特産品創出に活用できるよう企業と調整を図りながら進めて参ります。

さらに、今後の本村における園芸振興を図るため、生産農家やJ・Aと連携し、品目の選定並びに品質及び安定供給体制の構築を模索して、野菜農家の育成を目指して参ります。

併せて、特産品開発に向け、農産物・畜産物・水産物等の加工品の付加価値を高めるため6次産業化を目指し、農福・農商工連携を含め雇用創出を図って参ります。

② 水産業の振興

本村は周囲を海に囲まれ、恵まれた漁業環境にあります。中でも、基幹漁業であるモズク養殖は、県下でも有数の産地として知られており、特に「早摘みモズク」に高付加価値をつけることで他生産地との差別化を図り、「モズク」の拠点産地として認定されたことは、今後の本村水産業の振興発展に大きく寄与するものと確信するところであります。

また、アーサについては、新聞報道にもありましたとおり、中ナウイルスの増殖を抑える効果などがあると発表されておられ、世界的にも感染の拡大が続いている新型コロナウイルスにも効果があると期待されています。

アーサの新たな活用方法も含め、引き続き海ぶどう及びアーサの拠点産地形成に向けて、漁協と連携を図り支援して参ります。

一方、これまで恵まれた漁業環境にありながら、天候等による漁家所得の不安定及び組合経営等の悪化により、「要改善J・F」の指定を受け、伊是名漁協経営改善検討委員会において、改善計画の進捗状況及び取り組みに対する指導・助言等を定期的に行ってきたところでありますが、令和元年9月9日付けで晴れて「要改善J・F」の指定解除を受けたことで、今後は組合経営安定に向け取り組んで頂きたいと思っております。また、引き続き「浜の活力再生プラン」に基づき、「モズク最終選別施設」の更なる品質管理体制の強化（HACCP 認証）を図るため、各関係機関、漁業組合と連携を図りながら支援し、水産業の振興を図って参ります。

③ 畜産業の振興

村における畜産業の振興を図るため、平成31年度から第2次計画として沖繩振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した優良繁殖雌牛導入促進事業による繁殖雌牛購入費用の一部助成を開始しており、今年度においても継続して実施して参ります。

そして、今後も畜産農家の経営基盤の強化を図り、意欲ある生産者が継続的に取り組めるよう諸施策を推進して参ります。

(2) 商工・観光業について

① 商工業の振興

本村には大規模な企業はなく、大半が個人経営や小規模零細企業となっています。小規模ながらも村内の雇用と経済を支える重要な役割を担う産業であることから、村商工会と連携を図り、生産性向上、経営支援の強化、自立発展にむけた施策を継続的に推進して参ります。

また、本村の特性を生かした農林水産業との連携により、6次産業化や新たな特産品の開発を支援するため令和元年度に「伊是名村6次産業化・地産地消推進協議会」を発足しておりますので、引き続き地域資源を活用した6次産業化・地産地消の推進に取り組んで参ります。

② 観光産業の振興

本村は、二見ヶ浦海岸などの自然海岸、伊是名山森林公園からの良好な眺望、古民家が残る集落景観など、豊かな自然環境や歴史文化資源など数多くの観光資源を有しており、県外からの修学旅行生による民泊体験型交流学習が安定的に実施され、交流人口の増加に繋がっています。

す。このため、恵まれた自然環境や歴史文化資源を保全し、観光客や村民の利便性向上を図りながら農林水産業との連携や、各イベント開催等交流人口増加に向けた取り組みを継続的に推進して参ります。

2 教育・文化・スポーツの振興について

(1) 学校教育の充実

新学習指導要領では、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「何ができるようにするか」についてを体系化した上で、新しい時代に必要とされる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容が見直されました。そのことにより、小学校では外国語教育（外国語活動・外国語科）が教科化され、小・中学校では道徳の授業が特別の教科として位置づけられました。また、新学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」を育むことの必要性や「生きる力」の内容を教育関係者、保護者及び地域社会の間で共有することが、最も重要であるとしており、本村においても、新学習指導要領、伊是名村教育振興計画及び教育主要施策に基づき、学校・家庭・地域がともに連携して、次のような取り組みを実施して参ります。

幼稚園については、昨年10月にスタートした保育料無償化の基準に基づき、午前保育利用料の無償化に取り組みます。また、0歳～5歳までの幼児教育と保育を一体化した認定子ども園の早期開園を目指して、関係部局が連携して取り組んで参ります。

小学校における外国語活動・外国語の教科化に伴い、英語教育の充実化を図るために、英語指導員を配置します。

また、学習支援員の配置並びに各種検定受検の支援、小学生を対象にした放課後学習教室（まちがにアフタースクール）、中学生を対象とする村営学習塾「尚円チャレンジ塾」については、子どもたちの確かな学力の向上を確実に図るため、継続して全児童・全生徒対象に事業を実施して参ります。

更に、昨年実施した中学校に続き、小学校においてもICT環境の整備を行います。なお、このことについては、コンピュータ関連機器の整備は基より、専門的な知識を有するICT支援員を配置し、教員のサポート体制も整えます。

(2) 共働き世帯の支援

核家族化や男女共同参画社会の進展により、近年、共働き世帯が増加傾向にあると言われて

3 村民福祉について

(1) 高齢者福祉の充実

本村は、高齢化率が高く沖縄県の平均を上回っております。それに伴い、高齢者の単身世帯や高齢者夫婦世帯も増加傾向にあります。高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、高齢者の自立支援や介護予防・重度化防止に向けて取り組んで参ります。

地域で生活を望む高齢者に対し、配食サービスや移動サービス(くるまーる)事業を包括的に支援し、願寿サロンなどの介護予防事業を重点に高齢者の居場所づくりに努めて参ります。

また、住民が主体となった100歳体操やグラウンドゴルフ、地域ボランティアによる「わいわい・うまうまい食堂」の開催等、世代間交流を通じた高齢者の見守りを推進し、住民が主体となった、地域で支える体制づくりに取り組めます。

高齢者の生活サポート事業、認知症への正しい理解を深めるための普及・啓発活動、認知症の早期発見に向けた体制づくりを推進し、高齢者福祉事業の充実を図って参ります。

(2) 児童福祉の充実

子どもの関わりは、次世代を

おり、本村においても子育て世帯の殆どが共働き世帯であると認識しております。このような共働き世帯やひとり親世帯の方々が安心して働ける環境を整備するために、幼稚園の預かり保育については、保育対象者を完全無償化します。

また、小学校居場所づくり事業(放課後子ども教室)も引き続き実施して参ります。

(3) 学校給食費の保護者負担軽減

昨年10月から保育料等無償化制度がスタートしましたが、学校給食費については無償化の対象外とされており、本村の子育て世帯の現状を見ますと、多子世帯も多く、年間の給食費が大きな負担になっているものと思われまます。そこで、幼稚園については完全無償化し、小学校児童・中学校生徒については3分の2を補助することで保護者負担を軽減し、子育てしやすい村づくりの実現を目指して参ります。

(4) 学校施設等の整備

学校施設は、そこで学ぶ子どもたちが一日の大半を過ごす場所であり、安全・安心が担保されていることが最大の条件であると考えまます。現在の小学校校舎は昭和55年に建築され、今年

で築40年になります。中学校校舎建築が完了したことに伴い、小学校の耐震化が急務であり、昨年度の基本計画・基本設計に基づき、実施設計を進めて参ります。

(5) 育英事業の拡充

子どもの貧困の連鎖は、教育の機会均等を阻害するものです。このような悪循環を断ち切り、経済的理由によって修学が困難で、かつ修学意欲に満ちあふれた優秀な人材に、奨学の措置を講じ、本村の将来を担う人材の育成を図るため、令和元年度より導入している給付型奨学金制度を本年度も引き続き実施することで事業の充実を図ります。

(6) 生涯学習(社会教育・社会体育)の推進

生涯学習とは一般的に、人々が生涯にわたって行う学習行為であると言われており、その分野は学校教育、文化活動、スポーツ活動、趣味、レクリエーション活動など、多岐にわたります。また、国においては、「国民一人ひとりが、豊かな人生を送ることが出来るよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することが出来る。」生涯学習社会構築のための法律が整備され

ました。

本村においても、村民一人ひとりが生きがいを持つ、生涯学習社会の実現に向けて、「教育の日」を柱に、生涯学習発表会の充実及び文化、スポーツ活動等を主催する諸団体の支援を継続して参ります。また、学校施設、社会教育施設(社会体育施設含む)については、村民の学ぶ場として、村民のニーズに応じて一般開放して参ります。

(7) 文化財の保護・活用

村内には、国、県、村指定文化財及び国登録文化財が43件あり、その保護については、法令並びに条例等に則り、適正に管理・保護を行う必要があります。また、文化財は観光資源としての誘客力に優れており、村観光産業の発展に寄与することが期待されていることから、更なる事業展開が望まれています。

このようなことから、今年度においては、銘苅家並びに名嘉家の旧蔵品の修復、復元事業を継続して行うほか、玉御殿石段整備を見据えた昨年度の玉御殿周辺発掘調査に基づき、調査報告書の作成を行います。また、字仲田区の龕(がら)については、引き続き保存処理に取り組んで参ります。

担う人材育成のスタート地点があります。修学前の児童がのびのびと健やかに育つには、生活する環境づくりが重要となっております。

保育については、待機児童解消を重点に、保育所主食・副食費を無償化し、負担軽減に取り組んで参ります。

また、子ども子育て支援については、共働きの家庭やひとり親、島外からの子育て世帯の移住者に対し、ライフステージに応じた子どもの居場所づくり事業を推進するとともに、子育て支援に努めて参ります。

(3) 障がい者福祉の充実

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、地域における障がい者が自立と地域社会へ参加できるよう、体験できる場の整備や就労支援へ努めて参ります。

障がい児については、健やかな育成に向け身近な地域で相談や適切な療育指導、就学支援の充実を図り、家族が安心して生活できるよう、福祉、保健、医療、教育、就労など様々な分野と連携し、「第5次伊是名村障がい者福祉計画」に基づいた事業を推進します。

4 保健・医療の充実に ついて

健康で安心して生活できることは、村民の誰もが願うことであります。しかし、本村においては、がんや、心疾患、脳血管疾患を発症する割合が高く、特に肥満や高血圧、高血糖、高脂血症については、県平均を上回っており、村民の健康を阻害する大きな要因と課題になっております。

生活習慣病対策として、特定検診未受診者へ受診促進を図るとともに、検診結果に基づき生活習慣病のリスクの高い住民に對しては保健指導や要医療者への受診勧奨、栄養指導、健康づくり事業を推進し、村民の健康増進に努めて参ります。

母子保健の推進につきまして、妊娠・出産・子育て期にわたり切れ目のない支援、子どもの発達支援に努め、子育てについての相談できる環境を整えて参ります。

また、伊是名村妊婦健康検診時の渡航費助成を活用し、妊産婦には安心して出産できる環境と乳幼児の健康を支援できる体制を整え、取り組んで参ります。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図って参ります。

5 生活環境の充実に ついて

(1) 道路網の整備について (道路の維持管理)

本村では県道約6.2km、村道約82kmが生活道路として現在整備されております。道路網の整備は、人の移動や物資の輸送、観光基盤の整備等、村民生活の向上や村経済の発展を図る意味において、重要な役割を担っていると考えております。

このような中、村道については設置以来数十年経過している路線もあり、老朽化による路面の傷みが著しく、通行に支障をきたしている区間もあります。

このような路線については、計画的に補修或いは改良を行う必要があり、今年度においては、昨年度からの継続事業として、チヂン線と上仲田線の改良工事を実施します。しかしながら、この2路線に對しての補助配分額が事業を導入して以来低調に推移しており、事業が思うように入らないのが現状であります。このことに関して粘り強く、県当局に對して配分額の増額を要望していきたいと考えております。

続いて、県道の維持管理につ

いては、昨年度の子ども議会においても質問がありました歩道の拡張等、村民皆さんの意見を伺いながら、県関係部署に對して必要な措置を要請して参ります。

(2) 上下水道の整備について ① 簡易水道事業の整備(水道広域化事業)

私達が生活していく上で、最も重要なライフラインの一つが水道であります。水は、生命維持や経済活動の基盤として必要不可欠なものであり、現在の水道事業が導入される以前、本村では共同水汲み場や地下水を主に生活用水として利用しておりました。

高度経済成長期に我が国の水道事業は、本格的にスタート致しました。本村においても同時に簡易水道事業が始まり、安全な水が各家庭や各事業所に供給され、そのことにより、村民の生活環境は大きく改善されました。

簡易水道事業の開始以来、40年余りが経過した今日、水道管や浄水施設の老朽化が進み、それらにかかる維持管理経費が水道事業を行う上で、大きな課題となっております。

平成30年度から始まった水道広域化事業は、これら本村水道事業の課題を解決するものであ

り、昨年度に引き続き今年度は、仲田区の一部と諸見区のほぼ全域において、水道管布設工事を実施する他、各家庭や各事業所への給水装置(水道メータ)設置工事も実施する予定です。工事の実施にあたり、村民の皆さんにご迷惑をお掛けすると思いますがご協力をお願い申し上げます。

このように、水道広域化事業は令和4年度供給開始に向けて着実に進んでおり、県企業局においても昨年度から管路布設工事が実施されております。

今後も事業の計画性を確保するために、関係機関と連携を図りながら、確実に事業を進めていきたいと考えております。

② 農業集落排水事業の整備

本村の農業集落排水施設は、ほとんどの設備において耐用年数が経過しております。そのため、老朽化に伴う劣化が顕著に現れ、維持管理費の節減対策及び計画的な補修・改築の施設更新整備が必要となっております。

既に伊是名地区と勢理客地区の施設を整理統合した「伊是名西部地区」における管路工事と勢理客地区処理施設内の新規処理施設の増設と既存の機器更新を終え、今年度は伊是名区処理施設の改修に伴う機器撤去等を実施し、環境負荷の低減並びに

生活環境の早期向上を図って参ります。

内花区、諸見区、仲田区の施設については、引き続き建設予定地の再検討を含め「伊是名東部地区」として整理統合が可能かどうか説明会を通して合意形成を図り、また道路事業や水道事業の計画や実施状況を含め検討して参ります。

(3) 環境衛生対策の推進 (廃棄物処理の展望)

快適で過ごしやすい健康的な村民生活を確保するために、行政が担う役割の一つとして廃棄物処理があると考えております。

廃棄物は大きく分けて一般廃棄物と産業廃棄物に分類され、行政の責任において処理するとされているのが、前者の一般廃棄物です。

本村においても、各家庭等から排出された一般廃棄物は数種類に分別し、島内で焼却処理するか、若しくは島外に持ち出したりサイクル処理等を行っております。

沖繩本島内においては、広域的に処理を行っている自治体も多数ありますが、離島村である本村においては、様々な課題があり現在まで実現していないのが現状であります。完成から10年が経過する焼

却施設は、機械類の摩耗等から年々維持管理に係る経費が増加傾向にあり、加えて、最終処分場についても、今以上に分別を徹底し、被覆処理量を抑えることで、施設の延命化を図る必要があります。

このようなことから、将来における廃棄物処理行政経費を試算しながら、近隣市町村と意見を交わし、広域的な処理を検討していきたいと考えております。

6 交通通信体系の充実に ついて

(1) 船舶運航事業について
本村と沖繩本島を結ぶ海上交通手段として、「フェリーいぜん尚門」が1日2便運航しており、利用者の利便性向上に努めているところです。

船舶運航事業は、旅客、生活物資の輸送など本村のあらゆる経済活動の基盤となっており、重要な役割を担っております。村の財産であるフェリーの適正な維持管理に努め、航路事業の健全運営を目指して継続的に取り組んで参ります。

荒天時の仲田港における係留・停泊ができない場合の仲田港補完バースの整備については、農林水産関係予算において、伊是名漁港勢理客地区で、

平成29年度より岸壁の施工が開始され、令和2年度においては浚渫工事が始まることから着実に工事が進んでいるところであります。

整備完了後は、仲田港の港内事情による欠航が改善され、運航の円滑化・効率化が図られるなど、村民はじめ、観光客等の利便性に寄与することができると期待するところであります。

(2) 伊平屋・伊是名架橋の早期実現について

伊平屋・伊是名架橋建設については、県による可能性調査が継続的に行われており、建設推進に明るい兆しが見え、早期実現の夢が着実に前進しているものと期待しているところであります。

今後、両村民が一体となつて早期実現の機運を高めることは勿論ですが、架橋建設促進協議会を中心に関係機関への要請等を継続的に実施し、事業化推進活動を積極的に展開して参ります。

(3) 地域公共交通について

運転のできない高齢者や障害者などの交通弱者が、居住地と各施設を結ぶための交通手段の確保は重要な課題であり、持続可能な交通体系の確立が不可欠

であります。

地域公共交通に関する施策は綿密な調査や実証実験を行い、決定することが望ましいとされていることから、本年度は地域公共交通会議を起動し、地域の現状と問題点の分析や具体的な施策内容を検討して、村民の足として誰もが気軽に利用できるコミュニティバスの運行に向けて取り組んで参ります。

7 消防・防災緊急体制について

いつ、どこでも起こりうる災害による人的被害、経済被害を軽減し、安全・安心を確保するためには、今後の防災体制を強化していく必要があります。特に各集落における体制は、住民の高齢化の進展や連帯意識の希薄化により、災害時での対応力の低下が懸念されています。

防災体制の強化を図るには公的な取り組みだけではなく、住民一人ひとりの災害に対する意識を高めるための取り組みや住民同士で助け合う体制づくりに努めて参ります。

また、本年度において、各避難所への標高表示及び村民の生命と財産を守るため、近年の災害の発生状況や気候変動の影響を踏まえた国土強靱化地域計画を策定して参ります。

8 定住環境の充実に ついて

本村は5つの集落から成り立っており、それぞれの集落では豊かなコミュニティが形成されています。

ところが、近年の人口減少から地域コミュニティの維持が難しくなってきたとの意見が多数寄せられています。

村としましては、平成30年度から地域の担い手の確保を目的に、若年単身者用住宅の設計を行い、平成31(令和元)年度から建築に着手しております。今年度においても引き続き整備を行って参ります。

整備後は、若年IUターナー等の地域定着の一つのツールとして活用していただき、地域の発展に繋げて参ります。

また、昨年度より実施の若年層への結婚・子育て支援の取り組みとしての結婚祝い金・出産祝い金については、2月現在において、6夫婦、12子への支給があり、若者世代の定住促進に確実に繋がっているものと確信し、継続して推進して参ります。

そして、平成28年に策定した「伊是名村人口ビジョン・総合戦略」に基づいた施策を推進するとともに、施策の効果を的確に捉え、施策の見直しを図りながら、活力ある村づくりを目指

して参ります。

9 健全な行財政運営について

本村は、少子高齢化及び人口減少の進展による、社会補償関係費の増加や村税の減少が懸念されるところであります。こうした状況に対応するためには、自立した村づくりを推進していくことが肝要であり、現下の厳しい財政状況においては、計画的かつ効率的な事業の推進及び事業の効果が得られているのかどうかを検証・評価する体制の確立が重要課題であります。また、安定的で健全な財政構造を構築する必要から、より一層高いコスト意識を持って経費全般にわたる縮減合理化を図り、負担の公平性を保ちながら、持続可能な財政基盤の確立に取り組んで参ります。

※②水産業の振興

見え消しについては、新聞報道を受けて記述しましたが、後日、「新型コロナウイルスに効くというように、リリースの内容とは違つたらえ方をされている。」として、研究チームがホームページから取り下げした経緯がわかり、削除致します。

令和2年度 予算総括表

(単位:千円)

区 分		令和2年度 当初予算額
一般会計		2,435,483
特別会計	国民健康保険特別会計	258,289
	後期高齢者医療特別会計	13,705
	簡易水道事業特別会計	183,296
	農業集落排水事業特別会計	106,666
	港湾整備事業特別会計	9,068
	船舶運航事業特別会計	419,261
	育英事業特別会計	9,802
	小 計	1,000,087
合 計	3,435,570	

一般会計歳出予算内訳

(単位:千円)

区 分		令和2年度 当初予算額
議 会 費		63,254
総 務 費		733,898
民 生 費		375,351
衛 生 費		208,753
農 林 水 産 業 費		270,898
商 工 費		36,351
土 木 費		138,631
消 防 費		14,806
教 育 費		251,191
災 害 復 旧 費		5
公 債 費		287,871
諸 支 出 金		49,474
予 備 費		5,000
合 計		2,435,483

一般会計歳入予算内訳

(単位:千円)

区 分		令和2年度 当初予算額
自主財源	村税	99,835
	分担金及び負担金	4,660
	使用料及び手数料	17,501
	財産収入	651
	寄附金	8,601
	繰入金	207,631
	繰越金	59,799
	諸収入	41,895
	計	440,573
依存財源	地方譲与税	21,386
	利子割交付金	49
	配当割交付金	188
	株式譲渡所得割交付金	115
	法人事業税交付金	132
	地方消費税交付金	29,829
	自動車取得税交付金	0
	環境性能割交付金	1,912
	地方特例交付金	27
	地方交付税	1,125,000
	交通安全対策特別交付金	1,000
	国庫支出金	197,897
	県支出金	361,841
村債	255,534	
計	1,994,910	
合 計	2,435,483	

一般会計歳出予算性質別内訳

(単位:千円)

区 分		令和2年度 当初予算額
義務的経費	人件費	632,431
	扶助費	113,938
	公債費	287,871
	小 計	1,034,240
投資的経費	普通建設事業費	372,387
	補助事業費	247,917
	単独事業費	119,470
	災害復旧事業費	5
小 計	372,392	
消費的経費	物件費	518,907
	維持補修費	35,093
	補助費等	280,176
	小 計	834,176
その他の経費	積立金	8,622
	投資及び出資金	1
	貸付金	0
	繰出金	181,052
	予備費	5,000
	小 計	194,675
合 計	2,435,483	

卒業式&卒園式 ~そよ風が春の香りを運んで!!~

春三月、伊是名村立保育所、幼稚園、小学校、中学校では、関係者及び保護者が見守る中、卒園、卒業式が挙行されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、式典が縮小化され、関係者及び保護者のみの参加となりましたが、先生方の温かいスライドショーや心のこもった飾り付けなどで、例年に劣らず素敵な式となりました。また、中学校卒業式では、旅立つ後輩達に「心を強く持ち力強く歩んで欲しい。」と地域の先輩方からサプライズのプレゼントがありました。式に参加することはできませんでしたが、仕事終わりに集まってお菓子の壁画を作製し式場内に飾り、また、式場外では軽トラックいっぱいのお菓子のプレゼントもありました。

卒園生、卒業生それぞれ周りの人達の想いを胸に、自分が想い描く未来に向かって突き進んで下さい(^^)



軽トラック1台分のお菓子のプレゼントも...



仕事終わりに集まり制作期間約3日!



旅立つ後輩へサプライズ



3月7日(土)

中学校卒業式



3月18日(水)

小学校卒業式



3月13日(金)

幼稚園修了式



3月19日(木)

保育所卒園式



保育所 親子カレー作り

2月26日伊是名村立保育所において、「親子カレー作り」が行われました。きりん組さん(3歳児)親子で、男児の親子は皮むき、女児の親子は野菜切りをしました。普段、兄弟姉妹と一緒にパパさん・ママさんと過ごすことの多い子ども達も、この時ばかりはパパさん・ママさんを独り占めすることができ、とても嬉しそうにしていました。切った野菜を鍋に入れて煮込んでいる間に、パパさん・ママさんとスキンシップをとりながらカレー作りのペーパーサートや歌遊びを楽しみました。カレーが出来上がると、パパさん・ママさん・お友達に配膳し、うさぎ組さん(2歳児)が先生と一緒に作ってくれたゼリーも美味しく頂きました。普段は少食の子も、この日はおかわりをしてモリモリ食べていました。愛情いっぱい感じて、いっぱいごはん食べて、スクスク大きくなーれ(^^)



幼稚園 空手・琉舞お披露目会

2月21日伊是名小学校体育館において、幼稚園生30名(男児15名、女児15名)による「空手・琉舞お披露目会」が行われました。

伊是名幼稚園では、2学期より地域の人との交流及び園児の教育的関心の発展を目的に、週に1回、男児は、仲田輝仁さん(字伊是名:酒屋)を指導者に迎え空手、女児は、安里みや子さん(字伊是名:ペーチン嫁)・西美津子さん(字諸見:徳盛屋嫁)を指導者に迎え琉舞を習ってきました。

当日は関係者や家族が見守る中、男児は空手に始まり跳び箱にも挑戦。運動遊びが得意な子、苦手な子もそれぞれ最後までベストを尽くし、皆挑戦する目は生き生きと輝いていました。女児は、琉舞できれいな着物に身を包み、鈴のついた棒を両手に持ち、鈴の音を鳴らしながら「世界報で一びる」や力チャーシーを優雅に舞っていました。

幼稚園では、空手・琉舞を楽しむことに加え、地域の方を招いて週1回の「しまくとうば教室」や「おもちゃ作り体験」等を取り組んできました。地域の方々に見守られ、皆さんのご協力により伸び伸びと充実した学習をすることができていると思います。次年度もぜひ子ども達の成長と一緒に見守って頂きたいと思っております。皆さんよろしくお祈りします(^^)



優しく見守る
村学芸員大城さん

発掘調査員の
皆さんと

発掘した欠片を
集めると骨壺の蓋に!

この体験を通して、伊是名島の心地よい風に吹かれながらゆったりとした気持ちで歴史ロマンや、学芸員という仕事について触れ、少しでも子ども達の知識や今後の選択肢が増える一助になるといいですね。

発掘調査は地道な作業で、発掘場所によって発掘品が出やすい所と、なかなか出ないところがあり、生徒達も熱中する子、なかなか見つけることができず飽き始める子もいましたが、家紋が入った瓦の一部や陶器の欠片等見つけることができました。集めた欠片を復元し、骨壺の蓋とみられるものが再現できると一同感動していました。

一般的に体験することが難しい発掘調査ですが、村教育委員会と学校では「自分の住む地域の歴史を知ってほしい。子ども達にいろいろな体験をしてほしい。」という熱い思いが実を結び、2月26日から2月27日に、中学1・2年生を対象に、村学芸員大城さんの指導の下、玉御殿の発掘調査体験が行われました。発掘調査の前には、インターネットを利用し「発掘調査のやり方や注意点」を調べ学習し臨みました。

発掘調査は「基本層序を把握することで当該史跡の構築方法や、建築手法、当初の玉御殿の姿について、従来知られていなかった情報が得られる可能性が高く、今後の保護・活用にも大きく期待し、村内外へ発信することで文化財への意識高揚に繋げていく。」ことを目的としています。

村教育委員会では、明朝系瓦の破片が散在し、古文書に記述される様子の一端が垣間見える玉御殿周辺の発掘調査を文化庁補助事業を利用し、令和元年度から令和2年度に計画し実施しています。

中学生 発掘調査体験

漁協直売所開店!!



オススメ!

3月3日(火)、伊是名もずく工場そばに漁協直売所が開店し、関係者が見守る中、開店セレモニーが行われました。

「海人の方々から買取りした魚介類を地域の方々にもっと身近に美味しく食べてほしい。」との思いから実現した直売所は、安価格で魚介類をふんだんに利用した日替わり弁当、もずくやアーサ、魚の天ぷらが所狭しと並べられ、新鮮な刺身やテラジャー、すぐ調理できるような魚もあります。

海人の方々が捕ってきた栄養たっぷり新鮮な伊是名の海の幸。みんな美味しく頂きましょう(^^)



**地域包括支援
センターだより
No.10**

地域包括支援センターでは、「地域づくり」のサポートを行っています。これからさらに伊是名村が元気になるように地域のこれまでの繋がりを大切にし、新たな繋がりを支援していきます。ここでは、毎月地域の皆さんの活動を発信していきます。地域でやっている活動(お茶会、ゆんたく会、おすそ分け、物々交換、見守り、趣味・娯楽)を教えてください。

11・12月に実施した地域ゆんたく会の中で3字から「**公民館での食事会があったらいいな〜**」と声がありました。そこで、12月に本部町のまちづくりカフェ「**地域食堂あるある**」ゆんたく会へ参加。参加したメンバーより是非このメンバーで地域食堂をやりたいと声があり、11名の地域ボランティアのおかげで実現となりました。

地域ゆんたく会で、地域から上がっていた「**三世代交流**」も含め「**みんなの居場所**」を目的に、食を通して普段交流のない方とも出会える場になれば という、地域ボランティアの皆さんの思いからはじまった「**わいわい食堂**」(地域食堂)です。

わいわい食堂、はじまりました!



2月2日(日)、伊是名村体験館にて。

ワイワイ



waiwai



waiwai

わいわい



わいわい

ワイワイ

「わいわい食堂」という名前は、皆がわいわい食事をしてくれたらという思いと、伊是名島の方言、さまざまな意味をもつ「わい」という言葉の両方からとったネーミングになっているようです。

ボランティアさんの負担にならないようにと、あえて不定期開催としています。ゆるりとながく続けられればと話されていました。当日は、小さい子供から90代の大先輩の方まで幅広い年代の方が集まっていました。地域からの野菜の提供もたくさんあり 大人200円、小人100円の値段で実施しております。当日のメニューは、カレー・大根のふろふき・もずくとたまねぎの和え物・彩り野菜。どれもとても美味しかったです。ありがとうございました。

伊是名区



伊是名区 地域ゆんたく会で、「あったらいいなあ〜」で上がってきた「見守りをかねた地域食堂」が、このたび2月15日、伊是名公民館にてオープン(不定期開催)。今回、区老人クラブとの連携のもと実現。また当日は10名の地域ボランティアの協力があったようです。今後も続けて欲しいと 地域からの声もたくさんありました。

ご飯は、白米と黒米の2種類から選べ、豚汁とプレートには9種類ものおかずがありました。また、お肉とお米以外はすべて地域の方々からの頂きものでまかなえたようです。それも伊是名区の**地域力の強さ**ですね。

“**うまい食堂**”のうまういは、以前公民館の前でウマハラセーを行っていた馬場通りということもあり、伊是名区では“公民館”=“うまい”と呼ばれていたようです。また“美味しい”=“うまい”の意味もあることから名付けられたそうです。



むるかい
めーへえりーよー



2月15日(土)11:00~
伊是名公民館にて実施

2月生活サポート(有償ボランティア)状況
室内清掃:2件

生活サポーターの皆さんありがとうございました。
生活サポーター随時募集しています!



会場は、老若男女問わず多くの方の参加があり、それぞれが今後の伊是名島の姿を考えるよい機会となりました。



講演会は夕方ということもあり、「子育て世代も多く参加し、ゆつくり話を聞いてほしい」と会場に隣接する部屋で村保育士による預かり保育も実施。また、村栄養士が調理した島イチゴを使用したヤーサノーシも準備され、来場者を楽しませていました。

田口准教授は、「人口減少したら大変!!」という考えではなく、「いかにその地域に関わる人を取り込んでいくか、地域外に出る人と協力し合える関係を継続できるか」が大切。と語り、また「10年後、集落の年代別人口がどのように変化するか点検する」ことは、地域の将来を具体的にイメージでき、今後どういうアクションが必要になってくるかが分かり重要なことだ。」とのお話がありました。

3月18日(水)18時30分から村産業支援センターにおいて、徳島大学総合科学部 田口太郎准教授を講師に迎え、住民を対象に講演会が開かれました。

田口准教授は家族旅行で訪れた際「こういうところに住みたい。」と思ひ徳島県佐那河内村の過疎集落に移住を決意したといいます。集落行事以外にも日々地域の方との交流を大切にし、地域を盛り上げるため地域の方々と一緒に取り組んでいるそうです。

講演会
人口減少社会における
地域づくりの方向性〜住民主体
による自治の再設計〜

令和
2年度

特定健診・長寿健診・がん検診のお知らせ



村民の皆さま、年に一度は必ず健診を受け、自分の健康管理をしましょう!

行政区	月 日	内 容	場所・時間
伊是名 内花	5/19(火)	【基本検査項目】 胃がん 大腸がん 肺がん 肺炎	産業支援 センター (受付時間) 午前8時 ～11時まで
仲田 勢理客	5/20(水)		
諸見	5/21(木)		

婦人科 検診	5/21(木)	乳がん(要予約) 子宮がん	保健センター 午後2時 ～4時まで
	5/22(金)		保健センター 午前8時30分 ～10時30分まで

注) 社会保険本人の企業健診については、各事業所へお問合せください。(事業所は北部地区医師会との契約が必要になりますので、医師会にお問合せください。)

お問い合わせ：保健センター ☎45-2137

成人男性を対象とした風しん第5期定期接種について

平成30年7月以降、風しんが全国的に流行したことを受け、国は緊急風しん対策を行うことを決めました。具体的な内容は、風しん抗体検査と、検査の結果十分な抗体価がないことが分かった方に対する予防接種です。対象となるのは、公的補助による風しんの予防接種を受ける機会がなかった「昭和37年(1962年)4月2日から昭和54年(1979年)4月1日までに生まれた男性」です。

風しん抗体検査を特定健診時、対象者の方に実施します。

対象者は、次の要件のいずれにも該当する方。

- (1) 昭和37年(1962年)4月2日から昭和54年(1979年)4月1日までに生まれた男性のうち、伊是名村に住民票がある方
- (2) 平成26年4月1日以降に受けた風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がないことが判明した方



対象者の方には個別にお知らせを通知しますのでご確認ください。
風しん抗体検査・予防接種クーポン券は、健診会場受付で当日お渡しします。

4月30日(木)は **固定資産税の第1期の納期限** です!



		4月30日(木)	5月29日(金)	6月30日(火)	7月31日(金)	8月31日(月)	9月30日(水)
固定資産税	納期	1 期			2 期		
軽自動車税	納期		全 期				
村・県民税	納期			1 期		2 期	
国民健康保険税	納期				1 期	2 期	
後期高齢保険料	納期				1 期	2 期	3 期

お問い合わせ 固定資産税・軽自動車税・村県民税について… 総務課 45-2001
国民健康保険税・後期高齢保険料について… 住民福祉課 45-2819

※今年度より**地方税法に基づき延滞金の徴収を開始**しています。納期限までに完納されない場合、原則として法定納期限の翌日から完納するまでの日数に応じて計算した延滞税(延滞金)を納付しなければなりません。長い間未納のままだと高額となり、ますます納め辛くなりますのでご注意ください。

納税は便利な
口座振替もあります!
納税相談も
お気軽にどうぞ!



家庭ごみの収集時間について

令和2年4月から家庭ごみの収集は午前9時から行います。家庭ごみは収集日の**午前8時30分**までにゴミシールを張り各家庭の前に出してください。**午前8時30分**までにごみが出されていない場合はゴミ収集を行いませんので村民の皆様のご協力をお願いします。

お問い合わせは村建設環境課までお問い合わせください。

ゴミの種類	もやすごみ	もやさないごみ	粗大ごみ	有害・危険ごみ	資源化物
収集日	月・水・金	火	火	火	木

環境美化活動

令和2年度 村一斉清掃の実施予定日時

- 1回目: 4月11日(土)
- 2回目: 6月20日(土)
- 3回目: 7月18日(土)
- 4回目: 9月12日(土)
- 5回目: 11月14日(土)
- 6回目: 12月26日(土)



※作業範囲については、区長さんの指示をお願いします。

令和2年度 広報いぜな購読料について

期間 令和2年4月号～令和3年3月号(年間分) **金額** 1,000円

広報いぜなをご愛読いただき、ありがとうございます。
広報いぜな4月号に納付書を同封しましたので、お近くの郵便局にてお支払いいただきますようお願いいたします。

※5月末までにお支払いが確認できない場合は、郵送が止まる場合があります。

お問い合わせ：役場総務課 ☎45-2001



伊是名村育英基金 奨学金のご案内

給付型

大学等	入学支度金	282,000円(1回)
	給付金	360,000円(年額)
高等学校等	給付金	240,000円(年額)

貸与型(無利子)

大学等	5万円・6万円・7万円(月額)
高等学校等	3万円・4万円・5万円(月額)

※伊是名村育英事業では、令和2年度奨学生を募集します。募集期間は、4月30日まで、当日必着で申し込みして下さい。
 ※申込関係書類は、教育委員会事務所に備えております。



「尚円王の里いぜな島応援寄附金」

～令和2年度2月 ふるさと納税実績～

寄附者の皆様が寄せた寄附金は、「歴史と自然、人が共生する伊是名村」をめざして各事業、村発展のために使わせていただきます。ありがとうございました。

氏名	住所(所在地)	寄附金額
比嘉 一幸	-	- 円
非公表(ネット申込)4名	-	- 円
計		103,000 円

※「-」は非公表希望

寄附事業名	件数	寄附金額
自然環境の保全及び歴史・文化の継承に関する事業	1	23,000 円
教育活動及び人材育成に関する事業	0	0 円
健康、社会福祉及び子育て支援に関する事業	3	30,000 円
産業振興、生活環境整備及び定住促進に関する事業	0	0 円
その他目的達成のため村長が必要と認める事業	1	50,000 円
合計	5	103,000 円





どこまでも広がる、白銀の大地

～伊是名村「少年の翼」派遣事業 日高交流体験学習～



令和2年1月27日(月)～1月31日(金)の4泊5日の日程で伊是名小学校6年生10人を対象に、第26次「少年の翼」派遣事業を実施致しました。初日は一日中かけて北海道に移動し、フエリー↓バス↓飛行機↓バスと移動トライアスロンの末、19時過ぎに日高町へ到着。いつも元気な児童たちもさすがに疲れた様子でした。

2日目は、待ちに待ったスキー体験!!大半が雪を見るのも初めての児童たちは、日高小学校の保護者の皆さんや地域の方々の協力により、スキー操作の基本をレクチャーしてもらい、始めは転んだり、倒れたりと四苦八苦していましたが、次第に上達していき、スキーコースを颯爽と滑るまでになっていました。その後、日高小6年生とスキー交流で楽しんでいました。夜には、日高町民センターにて歓迎ムードの夕食交流会が催され、日高町の皆さんが想いを込めて地元食材をふんだんに用いて作ったご馳走に舌鼓を打ちました。夕食後には、保護者と両校児童による出し物が披露され、会場全体が終始暖かな雰囲気包まれていました。

3日目には、日高小学校において全体交流会がありました。日高小児童のエイサーやよさこいソーランで楽しみ、伊是名小児童はエイサーと伊是名島の紹介をしました。6年生保護者の手作りサーターアンダギーと4年生が体験で作った黒糖をプレゼントしました。その後、校庭に出て雪合戦やソリなどを楽しみました。



伊是名村教育委員会

そんな楽しい時間はあっという間に過ぎ、お別れの時間。両校児童は別れを惜しみながら、再開を誓い日高町を後にしました。午後は、札幌市内で北海道名物菓子「白い恋人」の製造・販売施設や雪まつり会場で雪像造りを見学し、北海道の観光や産業に理解を深めました。

4日目は、長い移動の末沖繩に戻り、最終日は、恩納村にあるOIST(沖縄科学技術大学院大学)を訪問し、見学プログラムを受け、最先端の科学技術や研究に触れました。

児童達は自ら考え積極的に行動し、先生方や引率者の話にも素直に反応していました。大きなげや問題もなく楽しく事業を終えることができました。この体験をおして児童らは一段と大きく成長したと思います。これからも自主性と協調性を大切にそれぞれの目標に向かって歩いてほしいと思います。中学生になっても頑張れ!!

島の暦 4月～5月の行事予定

- 4/1 水 保育所入所式
- 3 金 公事清明祭(クージシーミー)
- 5 日 ウタキ折目
- 6 月 山なし
- 7 火 小・中1学期始業式、新任式
中学校入学式/三月ウマチー
- 8 水 小学校入学式/ターヌヤヌウイミ
- 9 木 幼稚園入園式
- 23 木 アブシバレー
- 25 土 伊是名村「環境の日」
- 30 木 固定資産税第1期納期限
- 5/3 日 憲法記念日
- 4 月 みどりの日
- 5 火 こどもの日
- 6 水 振替休日

- 19 火 特定検診(伊是名区・内花区)
- 20 水 特定検診(仲田区・勢理客区)
- 21 木 特定検診(諸見区・午前)・婦人検診(午後)
- 22 金 婦人検診(午前)
- 29 金 軽自動車税納期限

我が家のニューフェイスです。よろしくね

ゆう しん
内田 優進くん (三男)
令和2年2月21日生 父：雄二 母：亜梨沙

ひと は
名嘉 一葉ちゃん (三女)
令和2年2月22日生 父：勇二 母：愛子

訂正 広報いぜんな3月号/表紙・P3 イチゴの管理者が、(株)日本流通システムとなっておりますが、正しくは日本流通システム(株)です。訂正して、お詫び致します。